

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 100年暮らす、自然が息づく「木組みの家」

グループの名称 越後ふるさと家守りの会

直近採択グループ番号 06-0493-0332

(グループ代表者)

代表者名	内山 勇人	代表者印
代表者所属先	株式会社 内山ホーム	
代表者所在地	新潟県上越市黒井2548-2	
代表者電話番号	025-543-4373	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社 菱元屋	
事務局担当者名	北村 彰近	印
事務局郵便番号	944-0004	
事務局所在地	新潟県妙高市国賀1丁目2番7号	
事務局電話番号	025-572-4145	
事務局FAX	025-572-3470	
事務局担当者E-mail	echigofurusato@gmail.com	



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		42	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	42	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	6	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		37	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	37	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	5	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		54	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	54	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	7	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		48	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	48	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		18	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	18	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		15	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		18	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	18	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		16	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	16	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		19	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	19	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		16	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	16	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		19	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	19	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		18	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	18	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	ゼロ・エネルギー住宅	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		19	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	19	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		19	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	19	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		1棟				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1棟				
					190㎡				
					190㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未経験の施工事業者を優先し、その次にBELS工務店、その次に要注確定した施工事業者に優先的に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	26	戸	交付申請戸数	22	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	22	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	















県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月～12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27～H29)			被災地 に該当	ZEHバ ルダ ーに 該当	BELS工 務店に 該当
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅			
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
15	VI - 7	72543	株式会社 高橋工務店	1	1	0	0	0	0	1	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 15	72506	ライズ株式会社	2	3	0	0	0	0	0	0	0	20	7以下	7以下	7以下	○	○	
15	VI - 16	72516	家'Sハセガワ 株式会社	23	29	19	6	0	0	0	0	15	15	3以下	3以下	3以下		○	
15	VI - 17	72555	株式会社 石曾根工務店	1	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 18	72558	株式会社 保坂組	4	6	2	2	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4以上	3以下	3以下			
15	VI - 19	72750	西脇建設 株式会社	4	5	0	0	0	0	3	2	0	0	3以下	4以上	4以上		○	○
15	VI - 20	72797	妙高建設 株式会社	11	7	2	2	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4以上	3以下	3以下		○	
15	VI - 21	91674	株式会社 水建	3	2	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 22	91676	株式会社 島田建綜	9	7	1	1	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 23	91677	株式会社 内山ホーム	1	1	0	1	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 25	91713	有限会社 水成工務店	2	2	1	1	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 26	91716	有限会社 柳工務所	4	3	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 27	91724	有限会社布施材木店	12	9	4	4	0	0	1	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	8以上	8以上	8以上	○	○	
15	VI - 28	91665	阿部建設工業 株式会社	1	3	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 55	72808	有限会社 山田建設	25	24	1	0	0	0	16	6	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	
15	VI - 57	91669	株式会社 カネキ屋工務店	4	4	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 58	72538	株式会社 丸山工務店	2	2	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	○
15	VI - 60	91715	有限会社 尾身建築	5	4	0	0	0	0	0	0	84	75	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 61	72535	株式会社 稲葉工務店	0	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 64	91705	木工房しもとり	1	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 65	91672	株式会社 小山建工	3	2	0	0	0	0	0	0	42	49	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 67	72748	星野建設 株式会社	2	2	0	0	0	0	0	0	310	300	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 69	91709	有限会社 丸池工務店	2	2	0	1	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 70	91708	有限会社 リフォーム一ー九	0	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○	○	
15	VI - 71	72810	有限会社 山良工務店	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 72	72812	有限会社 匠工務店	1	1	0	0	0	0	0	0	165	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			○
15	VI - 75	72814	有限会社 青木建設	3	9	1	3	0	0	0	0	0	0	4以上	3以下	3以下			
15	VI - 77	72724	山松木材 株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 78	72540	株式会社 郷建築事務所	5	6	4	4	0	0	0	0	0	0	4以上	3以下	3以下			
15	VI - 79	72702	橋本建設 株式会社	23	27	0	0	1	2	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 80	72603	株式会社ユーホームズ	2	4	2	3	0	2	0	0	0	0	4以上	4以上	3以下		○	○
15	VI - 82	72533	株式会社 井浦建設	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			○
15	VI - 83	72531	株式会社 ホンダハウス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			○
15	VI - 85	72818	有限会社 仲土地建設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 86	72526	株式会社 クリエイト	9	10	8	8	0	0	0	0	0	0	4以上	4以上	4以上		○	○
15	VI - 87	72805	有限会社 行方木工所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 88	72557	株式会社 浜田材木店	2	2	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 89	91714	有限会社 南波工務店	2	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 90	72704	金子建設	0	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 91	72740	城和工務店	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 93	91662	コモホーム 株式会社	17	42	6	37	2	2	0	0	0	0	8以上	7以下	8以上	○		○
15	VI - 95	91710	有限会社 山田木工所	1	1	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	7以下	7以下	7以下	○		
15	VI - 96	72537	株式会社 丸山建設	2	2	0	0	0	0	0	0	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 97	72865	有限会社 星建工務店	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 99	72804	有限会社 戸田工務店	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 100	72720	桜井建築 株式会社	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4以上	3以下	3以下			
15	VI - 101		有限会社 上村工務店	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			○
15	VI - 102	72519	貝瀬材木 株式会社	9	13	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 103	72738	松井住建	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 104	72710	五十嵐工務店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 105	72756	赤川建築企画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 106	72791	樋口建築	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
15	VI - 107	81069	有限会社 高助材木店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3以下	3以下	3以下			
VI -												m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
VI -												m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
VI -												m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
VI -												m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						





1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	(地域型住宅の名称) 100年暮らす、自然が息づく「木組みの家」	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県全域
2. グループの名称・結成年（必須）	(グループの名称) 越後ふるさと家守りの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0493-0332	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	積雪対策、地震対策を重視した安心・安全な住宅とする。 冬の厳しい寒さの対策として断熱等性能等級は等級4とし、温熱環境を重視した暖かい住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	積雪対策、地震対策として構造部材（柱・横架材）の強度を確保する。 積雪対策として屋根の強度を確保する。 軟弱な地盤が多いことへの対策として、地盤調査の結果を考慮し、必要に応じて適切な改良工事等を実施する等、基礎設計に十分配慮する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	玄関、アプローチでの落雪に対する安全対策を講じる。（例：庇の設置、玄関の配置の工夫など）	◎
④①～③の背景	新潟県上中越地区は全国でも有数の豪雪地帯である。 活断層が多く存在し、平成16年の中越地震、平成19年の中越沖地震、平成23年の長野北部地震というマグニチュード6クラスの地震が発生している。 また、軟弱な粘土層を有する沖積平野があり、これまでに新潟地域、上越地域、長岡地域、南魚沼地域及び柏崎地域の5地域で地盤沈下が観測されている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	エリアごとに細分化した「広報活動グループ」は、地域のイベントに参加し、気候・風土にあった住まいづくりの促進に努める。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 柱は120mm以上、横架材の厚みは120mm以上とする。 垂木使用時は45mm×75mm以上の垂木を455mmピッチで施工する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 仕様書を活用して共通する部材（配管部材、断熱材等）については、共同購入、仕入交渉等を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 躯体・建材の標準仕様書を作成し、お客様に分かりやすいツールとしても活用する。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 仕様書を活用して流通構成員は連携して部材（配管部材、断熱材等）の在庫を含めての安定供給を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様書を元に選定した商品を流通事業者が共同購買を始めている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産技術向上を図る勉強会・技術指導グループは、省エネ設備に重点を置き2カ月毎に検討会を開く。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会・技術指導グループの招集、及び検討課題の提案の取り纏め。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 流通構成員と事務局が連携して豪雪地域での太陽光設置予定物件にはメーカー保証の基準を確認し、施工構成員に通知する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会・技術指導グループは、構造見学会にて立ち会い検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 仕様書にモデルプランの概算見積やローン比較表等を記載したパンフレットを作成し、お客様にわかりやすいツールとして活用する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 細分化した広報活動グループは流通構成員中心に地域のイベントに参加し、告知活動をおこなっていく。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場近隣住民への配慮するためにも、流通構成員が中心となり、週休2日制を推進する。若者採用も促進する。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 流通構成員が中心となり、人手不足時は施工構成員間で協力できる体制を築いていく。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会・技術指導グループは、社会保険未加入の構成員を把握し、加入を促す。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 勉強会・技術指導グループは流通構成員ごとに施工構成員への安全大会を企画し実行する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	勉強会・技術指導グループは、特に断熱性能向上を目指し、広報活動グループと連携して断熱と健康に関する勉強会・セミナーを施工構成員向け2回、一般ユーザー向け2回の開催をする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 100年暮らす、自然が息づく「木組みの家」	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 越後ふるさと家守りの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0493-0332	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報のメンテナンス基準	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの情報共有を高めるため、住宅履歴機関を統一する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プロパティオン株式会社を活用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主・施工構成員以外に、事務局もIDにより確認する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴機関がもつメンテナンス時期をメールで通知する機能を活用する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大規模災害発生時は、緊急点検を実施して補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴の点検結果チェックシートを活用して確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理活動グループと広報活動グループは連携して、イベント開催時に「住まいのお手入れセミナー」を開催する。事業期間内に3回程度実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント開催時(8月・妙高ふれあいフェア等)にて、施工構成員が中心となり木工教室を開催する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント開催時(8月・妙高ふれあいフェア等)にて、流通構成員が中心となり住まいに関するお悩み相談会を開催する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 継続して維持管理活動グループは、3ヶ月毎に会合を開催する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し前においては、代替履行事業者を事務局が施工構成員より斡旋する。引き渡し後は、住宅履歴機関からの履歴情報の移管による管理継続。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社の社員を講師に招いて勉強会を実施する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	インスペクションの資格取得を推奨するし、長期優良住宅化リフォームの相談を事務局で対応する。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度も流通構成員がアドバイスして施工構成員ごとの断熱・省エネ仕様書を作成する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施行構成員の住宅省エネルギー技術講習会の「設計」のみの修了者は「施工」も受講する。	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後は受講者は修了証の写しを事務局に提出し、それを持って確認する。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材の流通構成員は施工構成員の受注状況を把握し、連携して地域材の確保を行う。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅版BELSの研修会を開催し、BELSの表示標準化を目指す。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、流通構成員は受注予測を把握し製材構成員に通知する。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 68 今年度の参加目標人数 16
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 11	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は講習会の開催日時を流通・施工構成員に通知する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ対策として、太陽光発電の有無にかかわらずHEMS(蓄電池対応)の採用を推進する。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 該当なし	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	BELS工務店を推奨する。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。





1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 100年暮らす、自然が息づく「木組みの家」	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 越後ふるさと家守りの会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0493-0332	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・優良建築物型の特徴

断熱性能は平成28年省エネルギー基準に基づく

柱は120mm以上、横架材の厚みは120mm以上とする

垂木使用時は45mm×75mm以上の垂木を455mmピッチで施工する

落雪に対する安全対策を講じる(庇の設置、玄関の配置の工夫など)



高効率設備機器設置

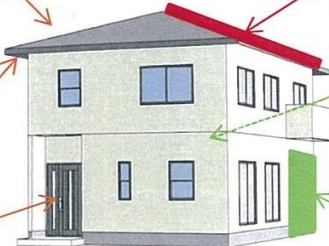
高効率給湯器設置

ゼロ・エネルギー住宅の特徴

柱は120mm以上、横架材の厚みは120mm以上とする

垂木使用時は45mm×75mm以上の垂木を455mmピッチで施工する

落雪に対する安全対策を講じる(庇の設置、玄関の配置の工夫など)



太陽光発電システム設置

高効率設備機器設置

高効率給湯器設置

地域	UA値	RO値	太陽光	設備	高効率設備機器(例)
3地域	0.49	26	4.9KW	冷暖房 換気	主たる居室:エアコン設備 区分(イ) 壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備
4地域	0.60	23	5.5KW	熱源機	ガス潜熱回収型給湯器(モード熱効率86.1%)
5地域	0.57	27	4.8KW	水栓/浴槽	台所、洗面:2バブル水栓以外のその他の水栓(水優先吐水) 浴室シャワー:2バブル水栓以外のその他の水栓(小流量吐水機能) 浴槽:高断熱浴槽
ランクアップ	0.40			照明	主たる居室・その他居室:LED照明、非居室:LED照明(人感センサーあり)

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。